

「山口県一子育てしやすい町」を目指しています！

～って言うじゃな～い？

令和6年度の事業から子育てに関わる予算をピックアップ。
子育て中のママたちに率直な意見を聞いてみました。

New! 大島病院に産婦人科外来を開設 (1,076万7千円)

周東総合病院から産婦人科医の派遣を受け、毎週火曜日に開設します。

健診の公費負担(533万2千円)

母子ともに健康に安心して妊娠・出産を迎えられるよう、妊婦健診(14回分)と妊婦歯科検診(1回分)の費用を助成します。令和6年度からは、双子や三つ子の妊婦さんには、+5回の妊婦健診分を上乗せで助成します。

子どもの医療費の無償化(2,553万5千円)

高校生等以下(18歳になった最初の3月31日まで。就労者・既婚者は除く)の医療費を全額助成します。高校生等への助成は、令和6年10月から始まります。

ほんとうに頼れる人がいなくて、途方に暮れているときしか利用できないように感じています。もう少し気軽に利用してよいなら、とてもいい気分転換になりそう！

専門家によるママの心と体のケア(68万3千円)

出産後のママが安心して子育てできるように、心身のケアやおっぱいケア、育児をサポートします。令和6年度から対象が産後4か月未満から1歳未満までに延長され、これまでの産科医療機関での宿泊・日帰りサービスに加え、ご自宅への助産師さんの訪問も始まります。



- ・やっぱり気になるのは、利用しやすさですね！
- ・制度や支援があっても利用者数が少なかったら「ニーズがない」と思われてしまわないか不安です。
- ・制度がわかりやすくPRされて、使う人も増えたらいいですね。
- ・必要な人に活用してもらえるように、しっかり広報してほしいです。
- ・助けてほしいけど、利用するのに不安がある…そんな点が払しょくできるといいですね。
- ・近年の出生人数の少なさにびっくり。少しでも多くの子育て世代に移住していただきたいなあ。
- ・家事・育児に関する手伝いの期間は、6か月までとは言わず状況に応じて対応してもらいたいなあ。

New! 赤ちゃんの聴覚検査を無償化 (22万5千円)

病院で出産後退院までの間に受ける新生児の聴覚検査が無料で受診できます。結果は町にも共有され、必要に応じて早期療育の支援を行います。

保育の無償化(保育所完全無償化事業 +子育て施設等利用給付事業 4,318万8千円)

保育園等の利用料を無償化し、副食費も助成します。町外保育施設、認可外保育施設や一時預かり事業等は利用料を助成します(上限あり)。

New! 育児相談会に助産師さんが参加 (8万6千円)

妊産婦さんと乳幼児の保護者向けに、定期的に開催している育児相談会で、保健師・管理栄養士に加え、令和6年度からは助産師も相談に応じます。

小中学校の給食費無償化(学校給食費無償化事業 +学校給食費等補助金 2,986万8千円)

町立小中学校に通う児童生徒の学校給食費を無償化します。あろは教室通学者やアレルギーによる弁当持参者には、給食費相当分を補助します。

New! 家事育児のお手伝い(109万5千円)

育児などに不安や負担を抱える妊婦さんや、生後6か月以内の乳児のいる子育て家庭に、ヘルパーさんが訪問し、相談を受けたり家事・育児をお手伝いします。

子どもが小さい頃、育児相談会に行くのが、唯一の息抜きで楽しみでした。母乳も安定して出なかったのが、助産師さんが加わるのは心強い！



育児相談は、不安を抱えたママが行きます。ぜひその不安に寄り添って対応してほしい。どんな相談会がいいか、しっかり考えてほしいです。



産後散らかった自宅に知らない人をいきなり招き入れるのは勇気がいる…利用前に顔を合わせて交流ができていたら、安心かも。

新しく始まる制度もいろいろあります。支援の対象になる方々に実際に体験してもらう機会があるといいかも。

支援を受けた方の感想や改善案を反映させ、町民の方と一緒にやってよいサービス内容に充実させていただきたいです。《広報編集委員会談義》

子育て支援の事業は増えたけど
次はそれをどう利用してもらうか。これからの課題です！